

2021年2月11日リリース Mist 新機能のご紹介

ジュニパーネットワークス株式会社

JUNIPER 
driven by Mist AI

はじめに

- ❖ 本ドキュメントは以下のリリースノートを抄訳したものです

<https://www.mist.com/documentation/february-11th-2021-updates/>

- ❖ 本ドキュメントは2021年8月時点のMist cloudのGUIを使用しております
- ❖ 実際の画面と表示が異なる場合がございます
- ❖ 内容について不明な点、ご質問等ございましたら担当営業までお問い合わせください

本リリースで追加された機能一覧

Simplified Operations

- P2Pファームウェアアップグレード
- AP LED点滅パターンの追加
- ラベル作成時の表示内容の追加
- WLANアサイン時の警告の表示
- オートプロビジョニング機能の条件にAPモデルを追加

Network Programmability

- ゲストアクセス スポンサーードアクセス機能の改善

Wired Assurance

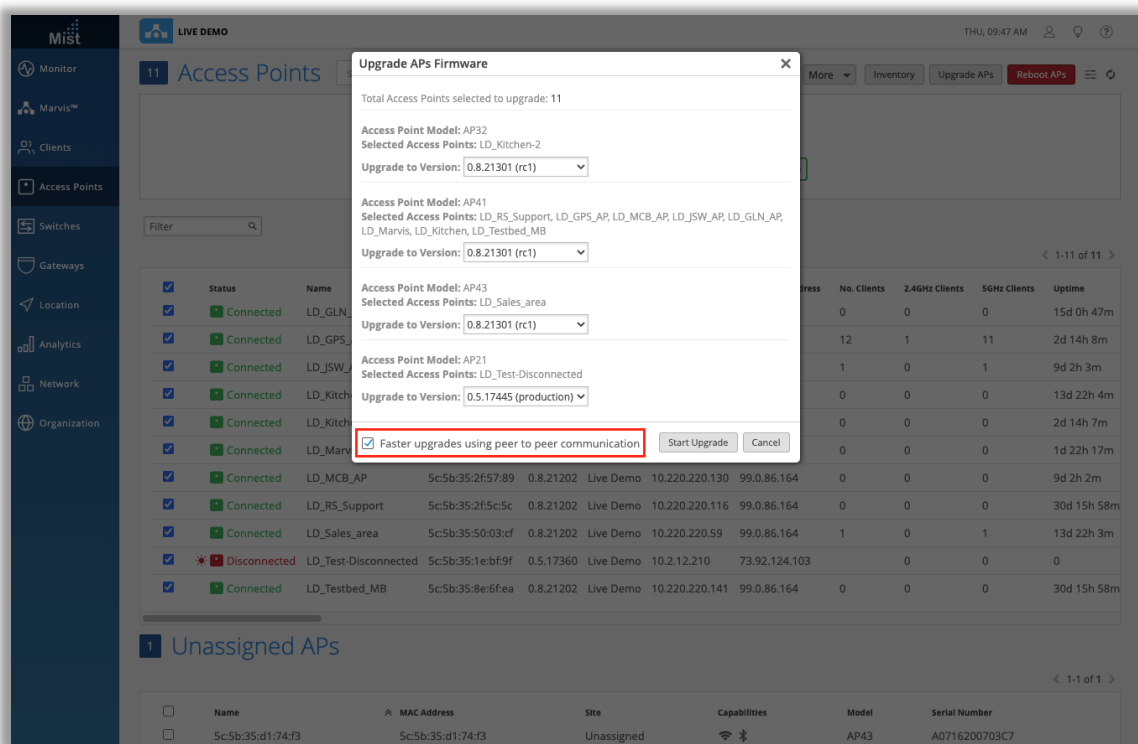
- スイッチ詳細ページでのポートディスクリプションの表示
- ポートプロファイルでのMTUオプションの追加

Mist Edge

- クレームコードとアクティベーションコードのサポート

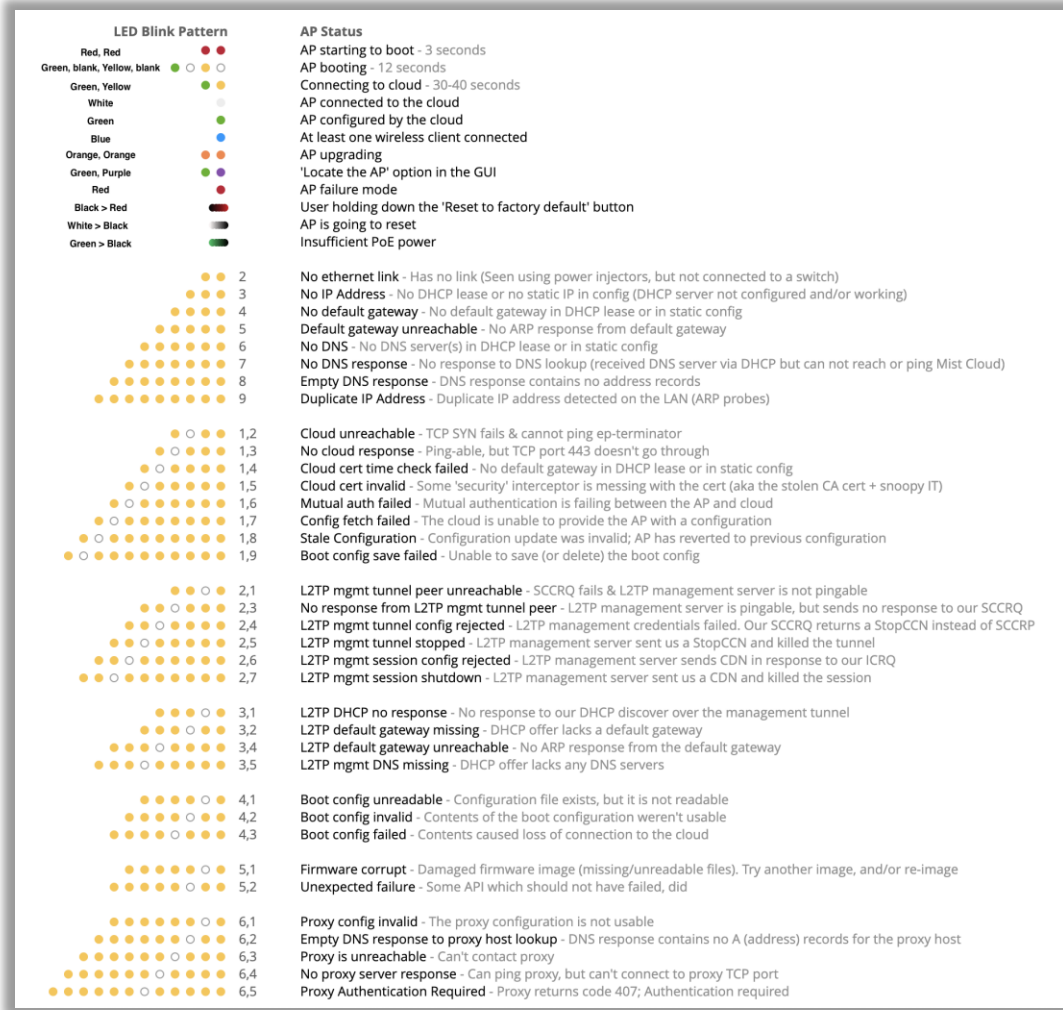
Simplified Operations

P2Pファームウェアアップグレード



- P2Pアップグレードは、すべてのAPがクラウドからイメージをダウンロードするのではなく、AP間でファームウェアイメージをシェアできるようにすることで、WAN帯域幅の効率を向上させます
- 仕組み：
 - シードAPは、最初にクラウドからファームウェアファイルをダウンロードします
 - 残りのAPは、シードAPからファームウェアファイルをローカルにダウンロードします
 - クラウドのダウンロードを1つのAPに制限することで、バッチでのアップグレードに必要な時間を短縮できます
- P2Pアップグレードを使用するには、APリストページに移動して、アップグレードするAPを選択します
- [APのアップグレード]をクリックすると、ファームウェアアップグレード画面が表示されます
- ここで、下部にあるチェックボックスを選択して、P2Pを使用したアップグレードの高速化を有効にします

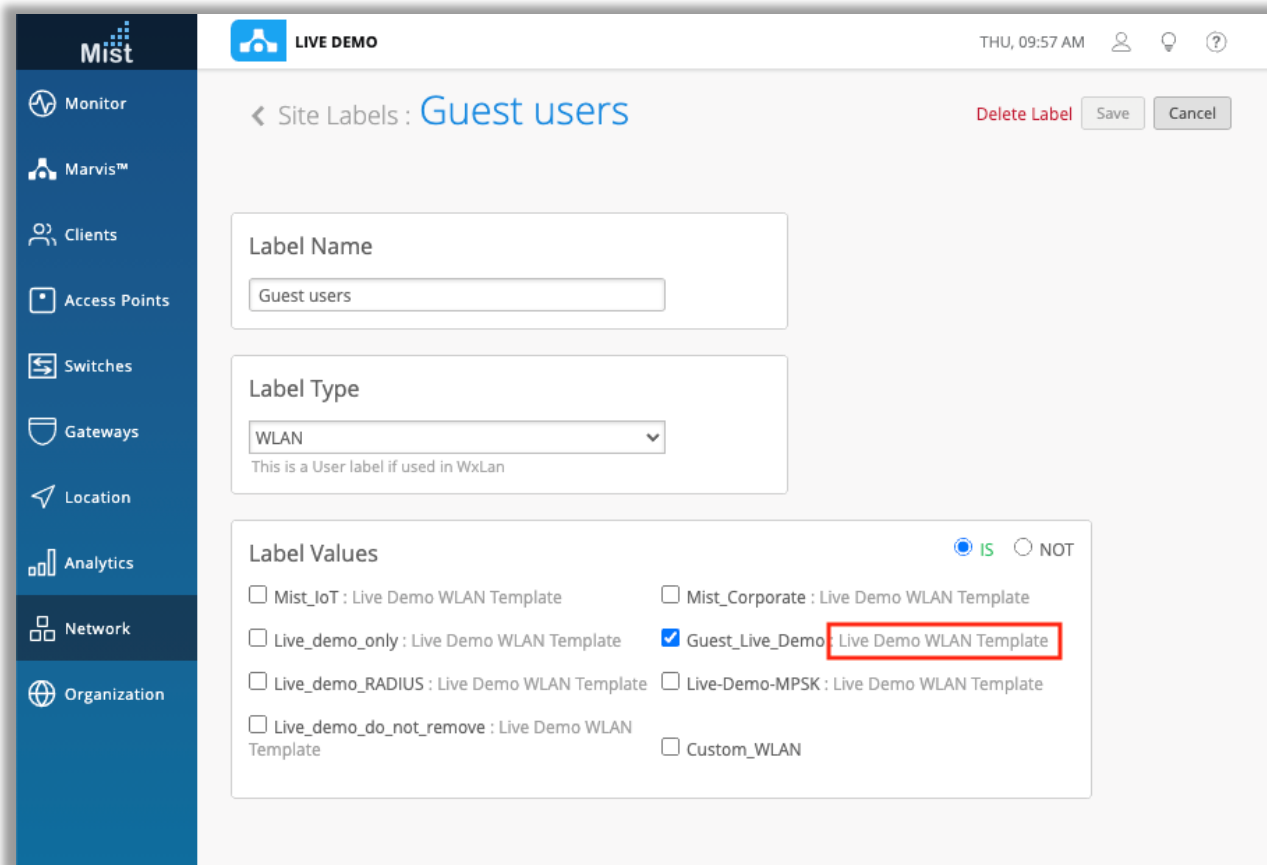
AP LED点滅パターンの追加



- AP LEDの点滅コードを更新してエラー識別状態を追加しました
- 詳細は以下のページをご参照ください

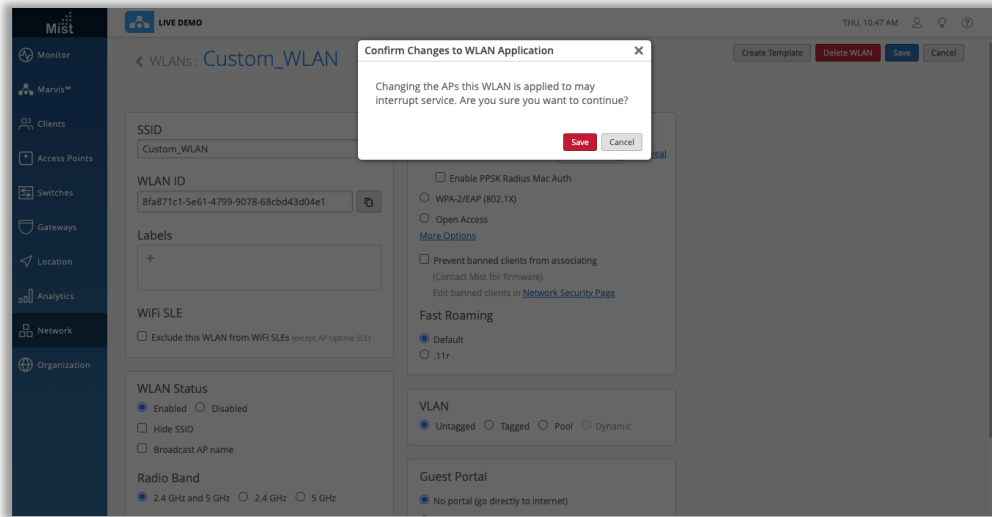
<https://www.mist.com/documentation/what-is-led-telling-me/>

ラベル作成時の表示内容の追加

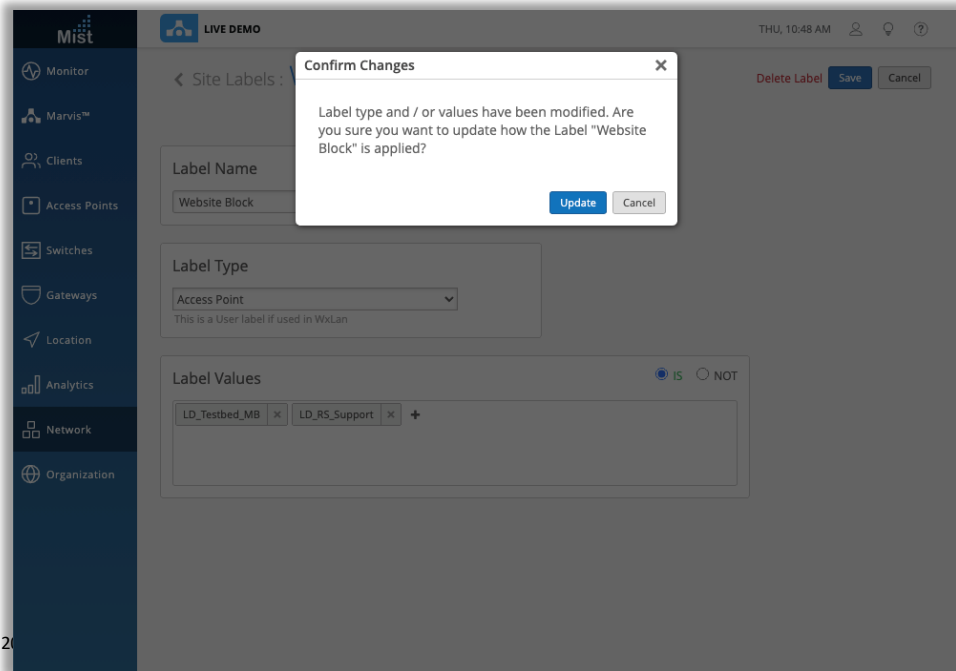


- [Labels]ページでWLANラベルのリストを編集する際、WLANの横にコンフィグテンプレート名が表示されるようになりました

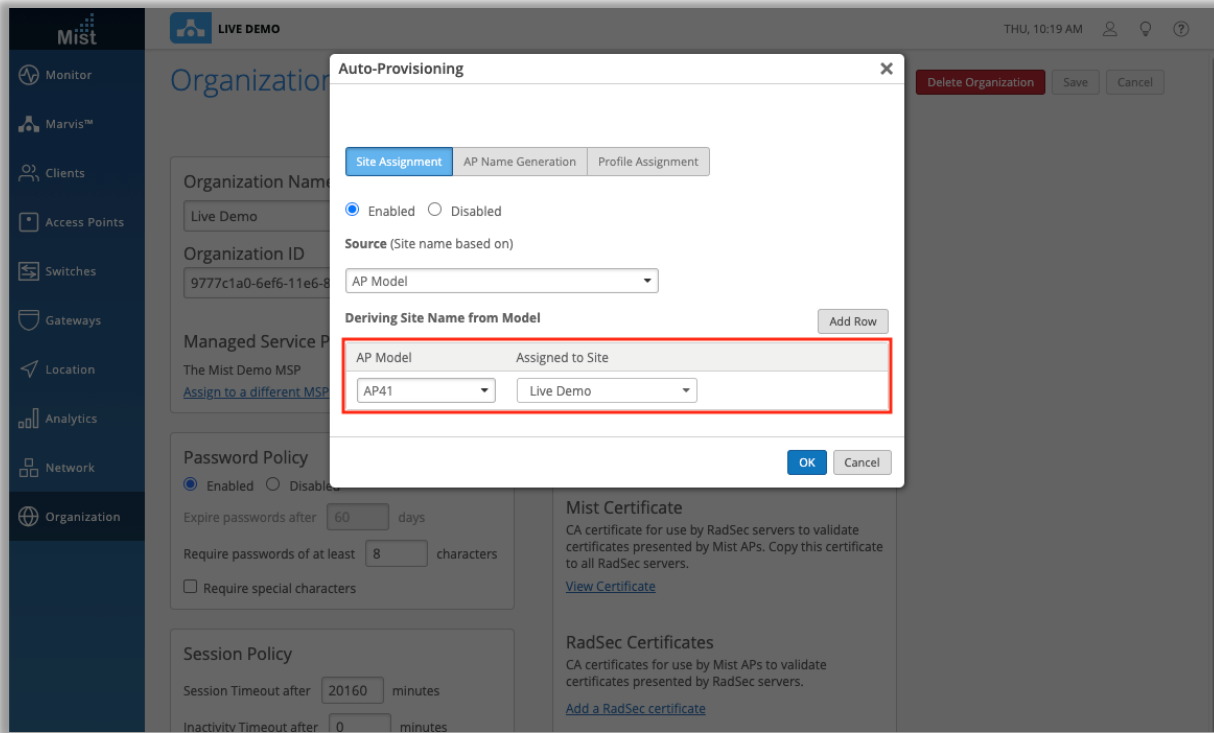
WLANアサイン時の警告の表示



- 設定変更時にAPが無線を再初期化する必要がある場合、誤って構成を変更してネットワークが中断されるのを防ぐために、ネットワークに影響を与える変更を行うたびに確認ポップアップが表示されます
- WLAN –アクセスポイントに適用
 - この項を変更すると当該のWLANを有効にしているAPに接続されたユーザに影響がある場合があります
- APおよびWLANラベルのタイプ/値
 - これらのラベルに変更を加えると、ラベルを使用して設定されたサイトポリシーに影響を与える可能性があります



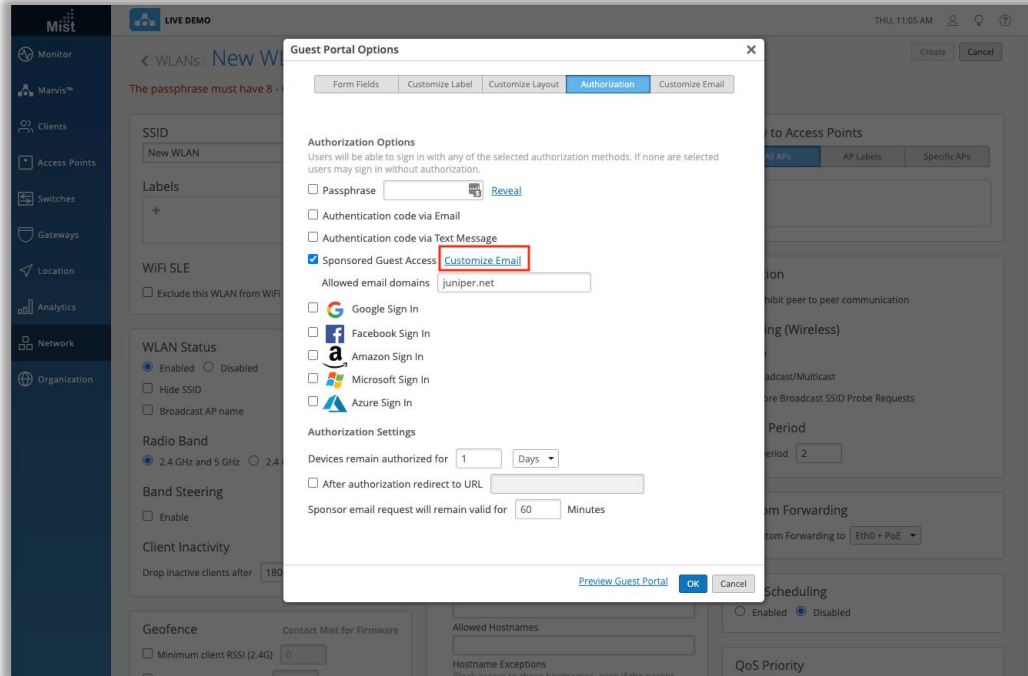
オートプロビジョニング機能の条件にAPモデルを追加



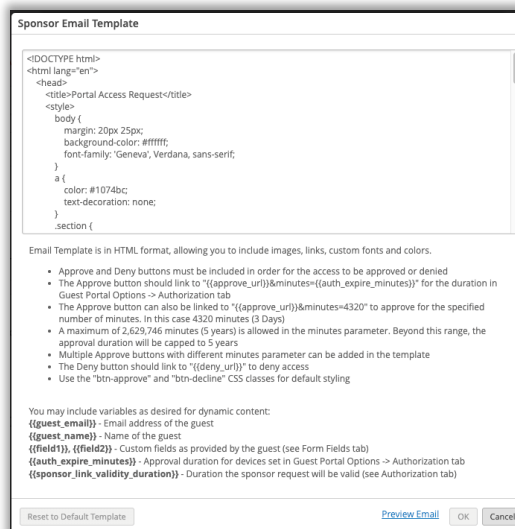
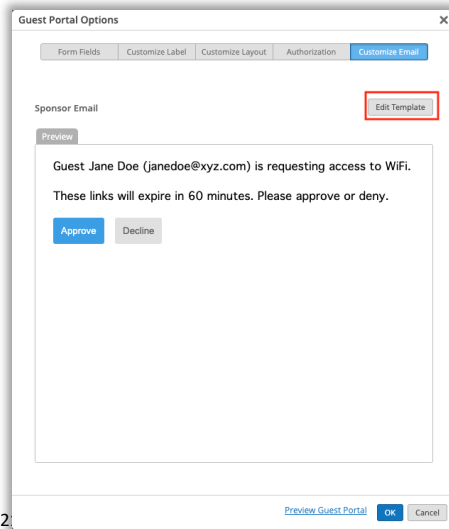
- APモデルに基づいたオートプロビジョニング機能を追加しました
- 特定のモデルAPを目的のサイトおよびデバイスプロファイルに自動で割り当てできます

Network Programmability

ゲストアクセス スポンサーードアクセス機能の改善



- キャプティブポータルのスポンサー付きゲストアクセスの際に、スポンサーに対して承認を求めるメールの文面がカスタマイズ可能になりました
- [Authorization]タブで、[Sponsored Guest Access]を選択し、許可されている電子メールアドレスを入力し、[Customize Email]を選択します



Wired Assurance

スイッチ詳細ページでのポートディスクリプションの表示

The screenshot displays the Mist switch configuration interface for a switch with ID 0c599c832be9. The main view shows a port configuration table with columns for Name, Role, and Notes. A tooltip is visible over the port ge-0/0/5, showing its status as 'Disconnected' and a 'Description' field containing 'Port 5 - Description here!'. Below the main view, the 'PORT CONFIGURATION' section is expanded, showing the 'Description' field with the same text 'Port 5 - Description here!'. The 'RADIUS' section is also visible, showing authentication servers and other settings.

NAME	ROLE	NOTES
ge-0/0/5	Disconnected	Port 5 - Description here!

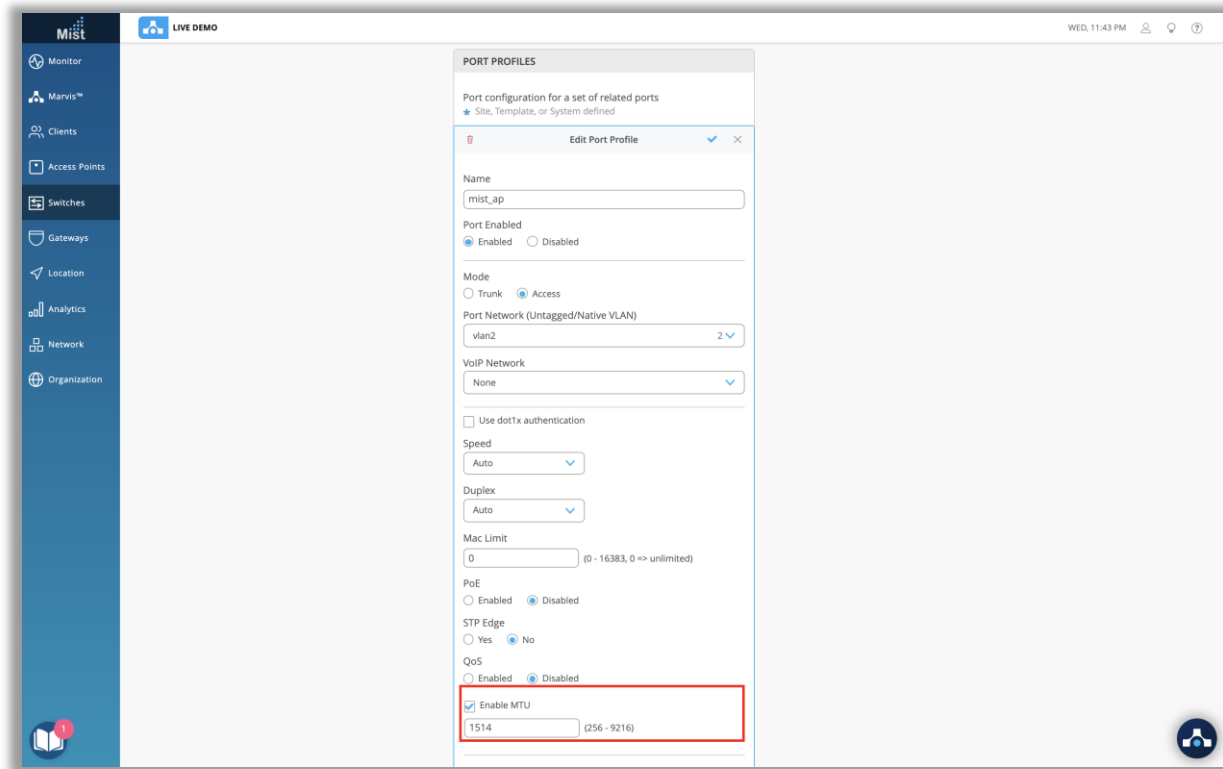
PROPERTY	VALUE
INSIGHTS	Switch Insights
MAC ADDRESS	0c599c832be9
MODEL	EX2300-C-12P
VERSION	20.2R2.11

PROPERTY	VALUE
STATUS	Connected
IP ADDRESS	192.168.1.156
MIST APS	3
WIRELESS CLIENTS	0
TOTAL POWER DRAW	67.60 W
UPTIME	6h 48m
LAST SEEN	11:15:21 AM, Feb 11

- スイッチダッシュボードUIのポートにカーソルを合わせると、[Description]ボックスのテキストが表示されるようになりました

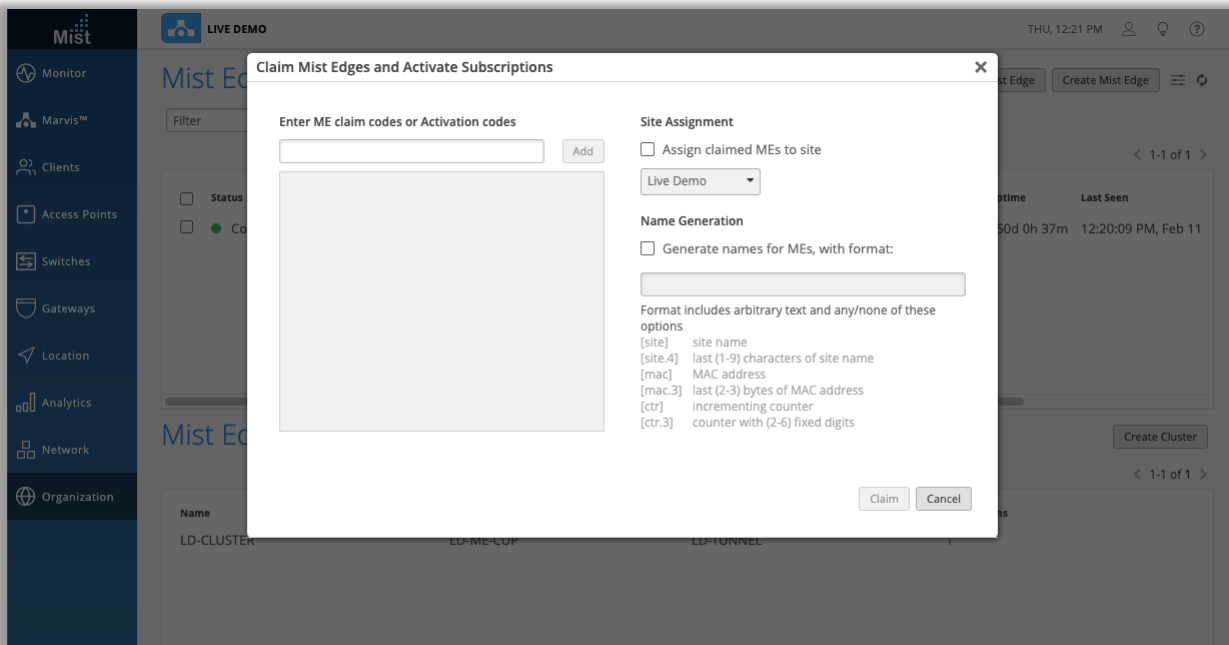
ポートプロファイルでのMTUオプションの追加

- [Device configuration], [Site Switch configuration] [Org Network Templates]の下のポートプロファイルでMTUの設定変更が可能になりました



Mist Edge

ZTP(クレームコードとアクティベーションコードのサポート)



- MistEdgeデバイスをOrganizationに登録する際に、APなどと同様のクレームコードとアクティベーションコードを使用したZTPに対応しました
- [Organization]> [Mist Edge]に移動し、Claim Mist Edgeボタンをクリックすると、画面が表示され、クレームコードまたはアクティベーションコードを入力できます
- 2021年3月1日以降に出荷されるすべてのMistEdgeは、ZTPをサポートします
- Mist Edge VMは、「CreateMistEdge」を使用して生成されたRegistrationコードの生成を通じたプロビジョニングを引き続きサポートします

Thank you

JUNIPER 
driven by Mist AI